

京都国立近代美術館所蔵

世界の現代ガラス

～1980年代のスタジオ・グラス運動の展開～



「無題 #810501」ステイブン・I・ウェインバーグ(アメリカ)1981年



「食物のない食卓」オーサー・プラント(スウェーデン)1979年

「無題」デイル・チーフリー(アメリカ)1981年

会期 2012年9月29日(土)～11月25日(日)

休館日:10月16日(火)、11月20日(火)

開館時間:午前9時～午後5時(入館は30分前まで)

入館料:大人(高校生以上)800円/団体20名様以上700円/中学生以下無料

主催:七尾市、公益財団法人能登島ガラス美術館

協力:京都国立近代美術館

後援:NHK金沢放送局、石川テレビ、テレビ金沢、北陸朝日放送、北陸放送、エフエム石川、ラジオななお



石川県能登島ガラス美術館
NOTOJIMA GLASS ART MUSEUM

〒926-0211 石川県七尾市能登島向田町125部10番地
TEL:0767-84-1175
<http://www.city.nanao.lg.jp/glass/>

世界の現代ガラス

～1980年代のスタジオ・グラス運動の展開～

1960年代、ガラスに興味を抱いた芸術家たちの自由で実験的な創作活動(スタジオ・グラス運動)がアメリカから世界各地に波及し、また、ガラス工芸の伝統をもつチェコなどで芸術分野におけるガラス教育システムの充実が図られたことによって、ガラス界に新しい風がもたらされました。

溶けて固まるガラスの特徴を取り入れた造形、質の高い技術や古くから受け継がれる技術を用いた造形、素材特有の光の透過・反射を活かした造形など、個々の作家がガラス素材と向きあい制作に取り組んだことで、表現に富んだガラス作品が見られるようになります。

1980年代には、急成長する現代ガラスアートを紹介すべく、世界中でガラスをテーマにした展覧会が開催されました。本展でご紹介する京都国立近代美術館所蔵のガラス作品も、世界のガラスアートの動向を紹介した2つの展覧会「現代ガラスの美—ヨーロッパと日本」(1980年、京都国立近代美術館)、「現代ガラスの美—オーストラリア・カナダ・アメリカと日本」(1981年、京都国立近代美術館)で展示されたものです。

ガラスがアートの一素材として世界中で注目され、現代ガラスアートが急速に成長した時代に、素材の魅力、洗練された技術、作家たちの溢れる創作心が一体となって制作された、現代ガラスアートの原点とも言える作品の数々をご覧ください。



- ①「円錐Ⅲ」「円錐Ⅳ」ハワード・ベン＝トレ(アメリカ)1981年
- ②「日本の劇場に敬意を表して」ジャンニ・トツ(イタリア)1980年
- ③「スペース・カップNo.52」マイケル＝エドワード・コーン(アメリカ)1981年

出品作家

アメリカ

カール・シャンツ
スティーブン I. ウェインバーグ
ダン・デイリー
デイル・チフーリ
ドミニク・ラビーノ
ドロシー・ベルコウィッツ・パウアー
ハーヴェイ K.リトルトン
ハワード・ベン＝トレ
ポール・サイド
マイケル＝エドワード・コーン
メアリー・シェーファー

イタリア

ジャンニ・トツ

オーストラリア

ブライアン・ハースト

スウェーデン

オーサ・ブランド

スペイン

ホアキン・トーレス＝エステバン

チェコ

マリアン・カレル

デンマーク

トーベン・ヨルゲンセン
フィン・リングガード

ドイツ

アーヴィン・アイシュ

フランス

ジョエル・リナル

会期中のイベント

わくわくワークショップ「キラキラ☆キーホルダー作り」

10月7日(日)10:00～11:30、13:30～15:30 参加費500円

出張ワークショップ

(のどしままつり 10月13(土)、14(日) 能登島家族旅行村Weランド)

出張ワークショップ

(市民文化祭 in のどしま 11月11日(日) 七尾市能登島生涯学習総合センター)



次回展覧会 能登ガラスコレクション「静と動 時を刻むガラス」

会期:2012年12月1日～2013年4月14日



石川県能登島ガラス美術館
NOTOJIMA GLASS ART MUSEUM

〒926-0211 石川県七尾市能登島向田町125-10 TEL0767(84)1175 <http://www.city.nanoa.lg.jp/glass/>

交通案内

電車・バス:JR和倉温泉駅から能登島交通バス「のどしま臨海公園行き」に乗り、約30分。「美術館前」下車すぐ。

車:能越自動車道田鶴浜料金所(能登有料道路徳田大津JCT経由)から車で約25分。

飛行機:能登空港から「ふるさとタクシー」で約1時間(要予約)。